

# 1. 一時・小バブル！→後に・大不況！！

所長 大平吉郎

## 1. 世界的なコロナ大不況は逃れることができない

「今回の経済危機（新型コロナショック）は、消費やサービスが落ち込み、企業業績が悪化、それが金融不安につながっていく」（東洋経済オンライン2020年5月1日付）

## 2. コロナ対策で膨大な貨幣供給量

多くの国は、貨幣を大增刷して対応している。（異次元緩和策という）

IMFが2020年4月15日に発表した財政モニターによると、世界全体の政府債務の膨張は対GDP比13.1%、日本政府債務の対GDP比は14.5ポイント上昇するという。現在は、さらに増大している。

## 3. コロナによって仕事ができなくなった

企業は「支払い能力が低下した」のである。

国が単に融資枠を拡大しても、返す当てがない融資では、いずれ限界が来る。

## 4. 小バブルを発生させるかも知れない

異次元緩和策によって増発された貨幣は、一時的には小バブルを発生させるかもしれない。

しかし、実体のない投資マネーだけが膨張しても長くは続かない。



## 5. 暴落相場は一度で大底までは到達しない

リーマンショックでは、「暴落→小反発」を三度繰り返して底値に到達している。

世界恐慌では、1929年10月24日のブラックサザデーから六度もの小反発を経て、2年9ヶ月後にやっと底値をつけている。



税理士法人 大平経営会計事務所

〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字横山45番地の1  
TEL: (0532) 53-5333(代) FAX: (0532) 53-5118

